

令和6年度 12月号 令和6年12月2日発行

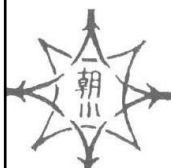
児童数594名

《学校教育目標》

かしこい子

やさしい子

たくましい子



朝霞第四小だより

朝霞市立朝霞第四小学校 〒351-0015 朝霞市幸町1-6-9

TEL (461) 0363 E-Mail 4shou@asaka-s.ed.jp

研究発表会を終えて、私たちに課せられた宿題

校長 原口 憲充

少しずつではありますが、凜とした冬が近づいてきたように感じます。校庭の桜の葉も赤みを増してきました。校舎から見える富士山も頂にうっすらと雪化粧。今年はずっとより冬の訪れが遅いようですが、私たちの周りの自然は確実に冬の身支度をはじめました。地域や保護者の皆様も風邪などひかずお身体を大切にお過ごしください。

さて、去る11月13日(水)に、本校は朝霞市教育委員会研究開発学校の指定を受け「全ての子供たちの可能性を引き出す学びの実現」という研究主題のもと、国語科で研究発表会を実施しました。指導者である、淑徳大学教員・保育士 養成センター特任教授 山本 直子 様や朝霞市教育委員会の皆様には、研究の始めからご指導をいただきましたこと、この場をお借りし感謝申し上げます。「ありがとうございました。」

さて、本研究主題「全ての子供たちの可能性を引き出す学びの実現」、この主題に迫るためには、私たち大人が日々たゆまなく自己研鑽する必要があると私は感じています。今までとは違う時代の流れに入り(世間では風の時代と言われていますが)、ますます人の知性や意識、情報などの価値観が重要視される中、これからの未来を推測し、子供たちを導き、より良く育てていくことを皆で考えることが、教職員や地域・保護者を含めたすべての大人に求められています。この研究発表会で、ご来賓としてお招きした、朝霞市教育委員会 二見 教育長も、これからの世の中の様子と我々教職員が目指す内容をよく考え進むことの重要性を問うていました。

加速度的に進化を続けるこの社会のなかで、子供たちは、学力の柱ともいえる、思考力、判断力、表現力を身につけなければなりません。また、自分で考えることや判断することはもちろんのこと、人に向けて考えを表現し伝えるということに関しても大切なことと私はとらえています。

子供たちに「自分で考え、考えたことを表現し、対話を通して思いを伝える」また「人に伝えあうことによって、他者との違いに気づき、その違いを受け入れ創造的に判断する」というプロセスを身に着け、これからの世の中をたくましく育ってほしいと私達職員は願っています。また、どうぞ未来ある子供たちのため、保護者・地域の皆様、一緒に歩ませてください。